

2019年2月25日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

渋谷再開発 渋谷駅直結・直上の新ランドマーク 「渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期(東棟)」建物管理業務を受託 ～多様な管理実績を活かした建物管理を実施～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期(東棟)における建物全体の統括管理業務などを、東京急行電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社の3社共同出資である渋谷スクランブルスクエア株式会社より受託したことをお知らせいたします。

渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期（東棟）について

渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期(東棟)は、2019年秋の開業が予定されている渋谷再開発最大級の施設です。

渋谷エリアでは最も高い地上47階建てで、展望施設、産業交流施設、商業施設、オフィスにより構成されています。渋谷駅直結・直上のランドマークとして、新たな価値とにぎわいをもたらす大規模施設です。

このたび、建物全体の統括管理業務などを受託し、2019年秋から業務を開始いたします。

当社はホテルや映画館を含む多様な商業施設、オフィス、住居など様々な機能の集合体である「二子玉川ライズ」の施設全体の管理統括の実績がございます。大型複合施設における管理運営の知識とノウハウを活用し、円滑な建物管理に向けた準備を進めております。



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者

東急コミュニティーについて

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行っている総合不動産管理会社です。マンションで33万戸、ビルで1,100件の管理実績があります。その他、行政施設（指定管理者・PFI等）でのホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設など様々な用途の維持管理運営実績もございます。

今後も、総合不動産管理会社として培ったノウハウを活かし、施設利用者にとって快適な建物環境づくりをはじめとした、高品質なサービス提供に努めてまいります。

【渋谷スクランブルスクエア第Ⅰ期(東棟) 施設概要】

名 称：渋谷スクランブルスクエア/SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE 第Ⅰ期(東棟)

事業主体：東京急行電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社

所 在：東京都渋谷区渋谷二丁目 24 番 12 号

延床面積：約 181,000 m²

階 数：地上 47 階 地下 7 階

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター (担当：中嶋・伊藤)

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。